

項目	意見等	機関名
タイムラインの追加・修正	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 意見なし</li> </ul>	—
運用の手引きについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これまでの弥栄ダムの事前放流の実績と効果を記載されてはどうか。これにより規定された事前放流量、開始時期での具体的な効果が理解されるのではないか。</li> </ul>	和木町
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「5.運用手順」「5.1収集可能な情報」表5-1の気象庁のリンク先を修正。</li> </ul>	広島・下関地方気象台
実運用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● セキュリティ上の問題により、大竹市危機管理課がインターネットメールの使用を控える期間があった。(8月～9月)</li> <li>● 11月現在、復旧したが、今後の対応として、メールアドレスが変更となる可能性がある。(変更時期未定)</li> </ul>	大竹市
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 河川水位に関するレベル移行について、太田川河川事務所から今後も周知するようにしてほしい。</li> <li>● 小瀬川に先んじて運用が開始されています太田川タイムライン運用の現状、問題点と対策等について、小瀬川タイムライン関係者に共有していただければ、本タイムラインへの反映、検討の幅が広がるのではないかと思います。</li> </ul>	和木町
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NTTは、通信インフラの安定提供と災害時には避難所等における特設公衆電話を提供する。行政の発するレベルにあまり左右されることなく準備を整えているため特に運用課題はない。</li> <li>● 避難所等においては、事前設置された特設公衆電話もあるので活用いただきたい。(全避難所には設置されていない。)</li> </ul>	NTT山口
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイムランの発動及び各レベル移行に関して、今出水期は太田川河事務所が実施したが、スムーズであったと考える。各市町は小瀬川流域以外の地域で災害発生の可能性が高い状況においては、小瀬川タイムラインの対応が後手に回ってしまう可能性があるため、レベル移行の周知等は太田川河事務所が一括で実施した方が迅速かつ斉一であるため、今後もこの方法が適当であると考えます。</li> </ul>	岩国市
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本年6月、洪水予報先へのご追加ありがとうございました。引き続き、よろしくお願いいたします。</li> </ul>	山口放送